



## J1 自衛隊コラボデー

静岡地本は4月20日（日）、IAIスタジアム日本平（静岡市）で行われたJ1リーグ清水エスパルス対アビスパ福岡戦で広報活動を行った。

この日は1万6000人を超えるサポーターが詰めかけ、会場は試合開始前から熱気に包まれた。静岡地本は陸自第34普通科連隊（御殿場市）とともに会場駐車場に広報ブースを開設し、軽装甲機動車などの陸自車両展示、災害派遣パネル展示、迷彩服試着体験、南極の氷体験、子ども向けカプセルトイなどを行った。

また、エスパルスが自衛隊コラボ企画として、陸海空の迷彩服を着た選手3人の巨大パネル設置や限定ポストカード配布を行い、サポーターは迷彩服を試着してパネルと一緒に写真を撮るなど、この日しかできない体験を満喫していた。

試合開始前には、空自第11飛行教育団（焼津市）のT-7初等練習機2機がスタジアム上空を展示飛行した。スタジアムの巨大スクリーンでは自衛隊紹介動画を流し、アナウンスでも自衛隊をPRした。

ハーフタイムには、ピッチに静岡地本マスコットキャラクター「しずぼん」と自衛官が登場。手を振ったり、エスパルスのキャラクター「バルちゃん」と一緒に写真撮影に応えたりして、観客席にアピールした。



## 静岡ホビーショー

静岡地本は5月16日（金）から18日（日）にかけて、ツインメッセ静岡（静岡市）で開催された第63回静岡ホビーショーで広報活動を行った。

会場入り口に陸自富士学校（駿東郡小山町）の16式機動戦闘車、陸自第34普通科連隊（御殿場市）の軽装甲機動車などを展示し、小展示場内では自衛官が身に付ける衣服や道具、装備品の模型などの展示、子ども向け自衛官なりきり体験、南極の氷体験などを行った。

小・中・高校生招待日の16日は多くの児童生徒がブースを訪れ、車両を見学したり、自衛隊オリジナルの缶バッジや紙飛行機を作ったりして楽しんだ。また、城南静岡高校の生徒が子どもたちに紙飛行機の折り方を教えたり、南極の氷を紹介した。

一般公開日の17、18日は模型ファンや家族連れなど約3万8000人が訪れた。自衛隊ブースにも来場者が詰めかけ、ホビーショーでは初展示となる陸自第105全般支援大隊（駿東郡小山町）の小松大晟3等陸曹が趣味で作製した木製の模擬銃は、その精巧さから模型ファンの注目を集めた。

毎年大人気の機動戦闘車の砲塔旋回展示には人だかりができ、自在に動く砲塔や砲身に感嘆の声が上がっていた。





## 帰省した隊員や学生が母校訪問

浜松所は4月28日(月)から5月1日(木)の間、今年度入隊した隊員と高等工科学校(神奈川県横須賀市)生徒の母校訪問に協力した。

4月28日は島津慶伍2等海士が浜松大平台高校、同30日は横山駿克2等空士と新村友歌2等空士が浜松東高校、5月1日は高等工科学校3年生の水谷孔紀生徒が市立北部中学校(いずれも浜松市)をそれぞれ訪れた。

4人は在学時の恩師や後輩などと久しぶりに再会し、自衛隊での生活など近況を報告した。恩師からは「見違えるほどたくましくなった」「たった1カ月ですっかり自衛官らしくなった。頼もしい」といった感嘆の声が聞かれた。

横山2士はサッカー部の後輩たちの前で自衛隊の魅力アピールし、自衛官を志したきっかけや、現在訓練を受けている教育隊での経験、工作や土木建築などの職種に進みたいこと、そして将来は父のような自衛官になりたいという熱い思いを伝えた。後輩たちは真剣な眼差しで話に耳を傾け、充実した様子の横山2士を見て「自分もちょっと興味が湧いた」と関心を示していた。

## 空自の女性リクルーターが後輩に自衛隊を説明

浜松所は6月17日(火)、静岡文化芸術大学(浜松市)で同大学3年生1人に対する自衛隊説明会を行った。

これは大学から依頼を受け行ったもので、同大学卒業生で現在は航空幕僚監部(東京都新宿区)総務課で勤務している阿部恵子1等空曹がリクルーターとして参加した。

阿部1曹は、自身の大学時代や自衛官を志したきっかけなどを和やかに話した後、入隊後のキャリアや現在の仕事内容、海外訓練に参加した経験などを伝えた。

学生は「入隊前の不安はありましたか」「訓練は女性でも大丈夫ですか」といった質問を投げかけ、また「海外訓練で通訳できるなんてかっこいい」と阿部1曹の仕事内容にも興味を示していた。

説明会は当初の予定を大きく上回る2時間に及び、2人はお互いの連絡先を交換するなどすっかり意気投合していた。



募集情報のご提供よろしくお願ひします!



海・空のパイロットを目指す  
航空学生

7月1日～8月29日受付

海: 18歳以上23歳未満(高卒者見込含)  
または高専3年次修了者(見込含)  
空: 18歳以上24歳未満(高卒者見込含)  
または高専3年次修了者(見込含)

各部隊の中核を担う自衛官  
一般曹候補生

7月1日～9月2日受付

18歳以上33歳未満の者  
(32歳の者は、採用予定月の末日現在、  
33歳に達していない者)

柔軟に将来を選択できる任期制  
自衛官候補生

通年受付

18歳以上33歳未満の者  
(32歳の者は、採用予定月の末日現在、  
33歳に達していない者)

各自衛隊の幹部を目指す  
防衛大学校学生

7月1日～10月16日受付(一般)

18歳以上21歳未満の者  
高卒者(見込含)または高専3年次修了者  
(見込含)

自衛隊の医師を目指す  
防衛医科大学校医学科学生

7月1日～10月8日受付

18歳以上21歳未満の者  
高卒者(見込含)または高専3年次修了者  
(見込含)

自衛隊の保健師・看護師を目指す  
防衛医科大学校看護学科学生

7月1日～10月3日受付

18歳以上21歳未満の者  
高卒者(見込含)または高専3年次修了者  
(見込含)

## 地域交流イベントで自衛隊の活動を発信

三島

三島所は4月6日（日）、株式会社フカサワ駐車場（駿東郡長泉町）で開催された、ながいずみ&すその交流イベント「サクラサクマツリ」に参加し、広報活動を行った。

このイベントは、地域住民の交流を目的に桜の見頃に合わせた行われているもの。フードコートやステージイベントなどが開催され、あいにくの雨にも関わらず多くの来場者で賑わった。

三島所は隊友会長泉支部とともに、能登半島地震の災害派遣活動写真パネルの展示、自衛官採用制度説明、迷彩服試着体験を行い、陸自第34普通科連隊（御殿場市）は、陸自の救急車、軽装甲自動車、偵察用オートバイを展示して広報活動に努めた。

ブースを訪れた家族連れは、迷彩服を試着したりパネルや車両を見学したりして自衛隊の活動への理解を深め、「自衛隊のことをもっと知りたい」と隊員に話しかけていた。



静岡

## 満開の桜の下、静岡まつりで自衛隊PR

静岡地本は4月4日（金）から6日（日）、駿府城公園（静岡市）等で開催された第69回静岡まつりで広報活動を行った。

静岡まつりは、江戸時代の華やかな様子を再現した行列やパフォーマンスなどが複数の会場で行われる静岡市の一大イベント。今年は3日間合わせて推計69万人が訪れた。

静岡地本は陸自第34普通科連隊（御殿場市）、隊友会、自衛隊家族会、自衛官募集相談員と協力し、メイン会場である駿府城公園に広報ブースを開設した。

満開の桜の下、災害派遣活動パネルや南極の氷、偵察用オートバイなどを展示したブースには多くの来場者が足を止め、防災クイズ、手旗信号体験、迷彩服を試着しての記念撮影などを通して楽しみながら自衛隊に親しんだ。

また、静岡地本マスコットキャラクターの「しずぼん」が広報ブースやステージイベントに登場し、ふわふわの体に迷彩帽を被った愛らしい姿で自衛隊をPRした。地元キャラクターとのコラボや子どもたちとの記念撮影にも応じ、常に人だかりができるほど人気を集めていた。

## ドラマで話題の救難隊も 高校生が浜松基地見学

袋井所は5月23日（金）、精華学園高等学校掛川校の空自浜松基地（浜松市）見学に協力した。

これは同校から依頼があり行ったもので、日頃見ることのできない自衛隊の施設や装備品を見学し、そこで働いている隊員の姿を通して働くことの意義や苦勞を知り、生徒の将来の職業観に繋げることが目的。生徒9人と教員2人が参加した。

最初に、空自救難教育隊（小牧基地）が舞台のドラマ「P J」でも話題の救難隊を訪れた。部隊や任務について説明を聞いた後、ドラマにも登場するUH-60J救難ヘリコプターの内部を見学した。

次に、第1術科学校の格納庫でF-15戦闘機を見学した。整備員から説明を聞き、生徒も教員も興味津々な様子で「戦闘機の速さに驚いた」「パイロットになって飛行機に乗ってみたい」と話していた。

午後は、消防小隊で航空機の火災などにも対処できる破壊機救難消防車や放水展示を見学し、防火服を試着体験した。

基地の警備を担当している警備小隊では、自衛隊の合図として使われるらっば吹奏、徒手格闘の展示、防弾チョッキの着用体験などを行った。

見学終了後、自衛隊の受験を希望している生徒は「自衛隊にはいろいろな仕事があり、陸上自衛隊の受験を考えていたが航空自衛隊も魅力的で迷う」と話し、ほかの生徒からも「対応してくれた自衛官が優しかった」など、好印象な感想が聞かれた。



# 県内初！海自イベント特集

## 輸送艇2号が熱海で特別公開 県内初の体験航海も

静岡地本は4月19日（土）、熱海港（熱海市）で行われた海自輸送艇2号の特別公開と、伊東港（伊東市）への体験航海に協力した。

午前9時から午後2時まで4回行われた艇内特別公開には、小学生から高校生とその保護者など約70人が参加した。同艇の特徴である艇前部が開くパウランプ、車両や物資を搭載できる車両甲板、艇長が指示を出す艦橋などを見学し、参加者は海上自衛官の仕事や艇内での生活などについて乗員に質問を投げかけていた。

午後3時からの体験航海には、自衛隊に興味のある中・高・専門学校生や自衛官志望の社会人など19人が参加した。あたま中央高等学院3年の青木麗奈さんは一日艇長に任命され、海自夏制服の上衣と帽子を着用し、艦橋のマイクで出入港の号令などを務めた。

航海中は艇内見学のほか、車両甲板でロープワークと手旗信号体験が行われた。参加者は2グループに分かれ、簡単にほどこのできる「引き解き結び」など実際に船でも使われる結び方や、「アリガトウ」の手旗信号を体験した。

約1時間の短い航海だったものの、参加者は乗員と打ち解けた様子で、海自の多種多様な職種や自衛隊に入隊するためのアドバイスなどを楽しそうに質問していた。



## 最新型潜水艦「たいげい」が初入港 特別公開を実施

静岡地本は5月23日（金）から25日（日）まで、清水港袖師第1埠頭（静岡市）で海自試験潜水艦「たいげい」の特別公開を行った。

「たいげい」は令和4年に就役した海自最新型の潜水艦で、令和6年3月に、開発中の装備を試験する「試験潜水艦」に艦種変更された。同艦が静岡県に入港するのは初めて。

特別公開は、上甲板見学と艦内見学の2種類を行い、自衛隊に興味のある中・高・大学生と保護者など280人が参加した。

参加者は、まず岸壁から「たいげい」の外観を見学し、乗員から潜望鏡や潜舵などについて説明を受けた。

上甲板見学では、岸壁から掛けられた栈橋を渡って潜水艦の上甲板に乗り、船体を覆う真っ黒なゴムのタイルに触ったり、艦内への入り口や通話用電話装置などを見学したりした。また、自衛隊で号令などに使われる信号らっぱの体験も行われ、挑戦した参加者は音を出す難しさを体感していた。

艦内見学では、艦長が指示を出す発令所、発電機のある機械室、魚雷発射管室、食堂、隊員の居住区を見学した。発令所には、艦の航行や管制のための装置が並んでおり、乗員から「ディスプレイはタッチパネルになっていて、どの席からでも情報を共有できます」「舵や潜望鏡は（操縦桿のような）スティックで操作します」といった説明を聞いた。参加者は実際にディスプレイやスティックに触れ、最新型潜水艦の性能に理解を深めていた。



### 定年退官

長年の勤務  
お疲れ様でした！



三島所長  
3等陸佐 **林 正士**

6月16日付

### 新規採用

▽ 総務課  
非常勤 **中村 瑞恵**

## 静岡地本 7、8、9月 主要行事予定

### 7月

- 11～15日…予備自衛官5日間訓練（板妻）
- 12～13日…4機関合同職業説明会（中部）
- 13日…予備自衛官1日間訓練（板妻）
- 15日…自衛官候補生試験（WEB）
- 19日…自衛官候補生試験（口述・身体）  
4機関合同職業説明会（東部）
- 20日…4機関合同職業説明会（西部）

### 8月

- 2～3日…清水みなと祭り
- 5日…静岡県自衛隊合同企業説明会
- 22日…定年退官行事（伊藤2尉）  
女性限定職場見学ツアー（練馬）
- 30～31日…清水ホビーショー

### 9月

- 12～16日…予備自衛官5日間訓練（板妻）
- 14日…予備自衛官1日間訓練（板妻）
- 16日…一般曹候補生試験（WEB）
- 20日…航空学生1次試験
- 22日…自衛官候補生試験（WEB）
- 27日…航空学生1次試験  
自衛官候補生試験（口述・身体）